



Nagai Rotary Club



長井ロータリークラブ



Weekly report

国際ロータリー会長

イアン H.S. ライズリー

長井ロータリークラブ会長	渡辺 清隆	第2800地区ガバナー	鈴木 一作
長井ロータリークラブ幹事	大道寺 信	第6ブロックガバナー補佐	小林 正芳
パストガバナー	渡部 保太郎		
例会日	毎週火曜日 12:15~13:15	例会場	タスパークホテル TEL0238-88-1833
事務局	長井商工会議所内 TEL0238-83-2047	会報委員	土屋 茂樹・浅野 敏明・栗田 正彦・齋藤 圭央

URL: <http://www.nagai-rc.jp>E-mail: info@nagai-rc.jp

四つのテスト 1 真実かどうか 2 みんなに公平か

3 好意と友情を深めるか 4 みんなのためになるかどうか

平成30年2月6日(火曜日) 第2,736回

<例会報告 NO.22>

【月間テーマ】 平和と紛争予防・解決

会員卓話 大山友規憲 会員 (経済と地域社会の発展)

★ 会長挨拶(渡辺清隆会長)



2月1日に白鷹ロータリークラブさんの今年で8回目になる寒鰯の会へ、8名参加して来ました。志ん月さんの料理を堪能し、会の世話人の芳賀康雄さんの豪快なお話と、素晴らしいハーモニカを聴いて参りました。

今日は米沢ロータリークラブから2名の方がメークに来ていただきました。後ほど大変楽しみなご案内があるそうです。

先日、ある女性起業家の記事を見ました。その方はデザインの仕事をされていましたが、お子さんが誕生したころ、仕事を通して『野菜』に興味を持たれたそうです。そして農家の方から「収穫した全ての野菜を出荷できるわけではなく、形が整っていないかたり、傷がついたりした野菜は自分たちが消費し、残ったものは堆肥や止む無く廃棄している」と聞かされました。ある日、お子さんがクレヨンで描いた手紙を見て、『安全で安心なクレヨンを作りたい』と思ったそうです。そして、残った野菜でクレヨンを作れば、万が一、口に入れても安全ではないか、また、廃棄する野菜を減らすことにもなると考え、起業されました。最初は失敗の連続で、その後、彼女の想いに共鳴したクレヨン製造会社と出会い、求めていたクレヨンが完成したそうです。

世の中には多くの商品やサービスがあります。『誰のた

めに役立つのか』が大切だと思います。私達の生活の中でも「誰かのために」と思ってやっていることが役に立っていることが多くあります。家族や友人、同僚の為など『誰かの為に』行うことは、人として素晴らしい人生になると思います。そして、ロータリークラブがそうです。他に奉仕することを頭に置いているクラブです。一番の目的である職業奉仕は、少しわかりにくいのですが、自分の仕事を一生懸命にすることが『社会のためになる』と私なりに解釈しています。ロータリーは難しいクラブではありません。

今、ここに居る全員が喜んで小笠原さんのロータリークラブへの入会を歓迎します。ありがとうございます。

ビジター紹介



○米沢ロータリークラブ

- ・副会長・創立60周年実行委員長 内藤 文徳 氏
- ・姉妹クラブ委員長 坂野 和弘 氏

60周年実行委員長の内藤です。長井ロータリークラブの皆さんには大変お世話になり厚く御礼申し上げます。今日は、創立60周年記念式典のご案内に参りました。5月26日(土)に「手をつなぎ”真っすぐ”歩む奉仕の道~」をテーマに開催いたします。是非とも都合をつけていただき事業・式典・講演を盛り上げていただければ大変幸せであります。よろしくご参加をお願いいたします。

○長井ロータリークラブを見学にいっしょにしました。



小笠原 信吾 氏(小笠原法律事務所 所長)

初めまして、小笠原信吾と申します。職業は弁護士をしています。事務所をかまえて忙しくさせていただいております。地域に光を照らすように頑張っていこうと思っております。今後ともよろしくお願ひいたします。

★幹事報告(大道寺信幹事)

- ・2月1日、白鷹ロータリークラブの例会に8名で参加して参りました。参加して頂いた方に感謝申し上げます。
- ・本日、第11回の理事会を開催いたしました。3月のプログラムについて確認いたしました。後ほどプログラム委員長から報告があると思います。
- ・昨年、各委員会の間接報告を行わなかった訳ですが、今年度も報告は行いません。まだ委員会を開催していない委員会は是非開催をしていただきたいと思います。
- ・早退届 前田 昌信 会員

★委員会報告

プログラム委員会 塚田 弘一 委員長

- ・第1週 6日 会員卓話 横澤 寿彦 会員
- ・第2週 13日 ゲスト卓話 長井市長 内谷重治氏
- ・第3週 20日 祝日(21日振替休日)休会
- ・第4週 27日 長井JC合同例会
(補足 齋藤圭央 会員 今回は理事長が招待を頂き、理事メンバー5名位とのことですが10名位連れてきたいと思っております。)

2月	<ご本人誕生日>				
	堺 清一 会員	12日	横澤 寿彦 会員	15日	
	<奥様誕生日>				
	齋藤 裕之 会員	19日	高橋勇喜知 会員	26日	
	渡辺 亨 会員	24日			

<ニコニコBOX>	
・大山友規憲 会員	父が叙勲を受け、3日に祝賀会を開いていただきました
・塚田 弘一 会員	大山社長、お父様の偉大な功績を引き継がれることを期待します。

★会員卓話(大山友規憲 会員) 経済と地域社会の発展 市場から見た、農業・物流・地域との関わり合い

1. 地元の地方卸売市場として
 - ・弊社は地方卸売市場として創業しております。
 - ・卸売市場の機能として
 - ① 集荷・分荷機能、② 価格形成機能、③ 代金決済機能(お金の支払い)、④ 情報受発信機能(生産者に欲しいものの情報を提供する)



・市場(しじょう)と市場(いちば)の違いとして、卸売市場で食品を購入できるのは卸売業者と売買参加者だけで、個人消費が買うことはできません。一方、公設市場(こうせついちば)という名称でも卸売市場でないため、直接消費者が買うことができる市場もあります。

2. 現在の農産物の流通

農産物の流通構造

- ・昔は、生産者から消費者に物が流れていたことから生産者を川上、消費者を川下と呼んでいたようです。
- ・物流の概要として、前は、生産者からJAさんへ約50%、卸売市場へ30~40%、実需者へ10%くらいでしたが、近年は、生産者は誰にでも売ることが出来、情報化の時代で取り扱いの業者さんも増え、実需者・消費者のニーズもあり、昔とは変わってきております。

3. 農業の現状

2015 農林業センサスより

- ・農地面積の小さい農家の割合が全体に少なくなり、大きくまとめている農家がやや増えてきている。
- ・生産・販売代金の多いのは稲作であります。
- ・農産物の出荷先として、生産者の方が自分で直接販売しようとしている方が増えてきている。
- ・農業就業人口は減り、高齢人口割合が増えている。

4. 法改正

- ・平成30年より減反政策の廃止 自由に作れる?
- ・農協法の改正
農業者と農協役職員の徹底した話し合いが大前提
農業者にメリットのある事業運営ができるようにする
農産物を有利に販売する など
- ・第10次卸売市場整備計画より、市場の許可制から認定制へ→誰でも開設できる
大手企業の進出・撤退が地域に影響を及ぼすこともある。

5. これから

- 地域に根ざした市場を目指して
- ・農業は一年ワンサイクルもっと大事にしていきたい。

★次回例会予定

2月20日(火) ファイヤーサイドミーティング
(渡部保太郎/パストガバナーミニ講座)

★出席報告

2月6日 例会

	会員数 (免除)	出席数	出席率	MU数	修正 出席数	修正 出席率
本日	29 (2)	23	85.18 %			
前回 (1/30)	26 (3)	20	76.92 %		23	85.19 %
前々回 (1/23)	26 (2)	14	53.84 %		20	76.92 %